

海の森フィジカルバランスウォータは肌を被い、肌本来のホメオスタシスが活性するために必要な「場」を形成します。

全ての生物がもっている生命基本原理は、「自己を自身で維持する能力」、「自己を自身で複製、増殖する能力」をあわせもつということです。この生命現象を可能にする物質とエネルギーを注ぎ込んでいるのが、生物をとり巻き、絶えず影響をおよぼす自然環境です。

ある自然環境のもとでできあがったヒトという動物の体内環境は常に運動状態にあって、時間・空間的に自然環境と均衡を保つ能力を持っています。これを生態的ホメオスタシス現象と呼びます。

そして、自然環境と均衡も保つことのできるヒトという動物の体内環境のもとでできあがった生理機能は極めて精緻で、常に運動状態にあって、定常状態にあります。これを生体的ホメオスタシス¹⁾と呼びます。1):生体的ホメオスタシスは、免疫系・代謝系・ホルモン系の連携によって維持され、この連携に大きく関与しているのが脳です。

生理機能が定常状態にあることが、結果として安定的に「物質」が細胞に運ばれ、不足なく「エネルギー」が生み出され、「自己を自身で維持する能力」と、「自己を自身で複製、増殖する能力」の元になっています。

皮膚はもともと肌を健やかに美しく保つ生理機能を備え、汗腺からの発汗や、皮脂腺からの皮脂分泌などは、まさしく肌環境を一定にしようとするホメオスタシス的生理現象です。体内環境や体内環境の一部である皮膚表皮環境が汚れ崩れないように、皮膚の分泌機能を使って体外に細胞代謝に不必要な物質（合成化学物質・過剰成分や老廃物）を出そうとしているのです。結果、肌の健康・美容維持に役立っています。

乾燥・肌荒れ（生命現象の低下）は、肌本来の生理機能が低下し、肌環境が汚れ崩れた状態にあります。こうした肌環境のとき、必要以上にクレンジングで洗顔するなど肌を傷める行為や皮膚に合成化学物質を浸ける・塗ると、肌本来の生理機能を益々低下させ、肌環境を悪くします。壊れた肌環境を還元し、肌本来の生理機能を元通りに戻すために、肌という「場」（環境）を壊さない・汚さない行為はとても大切です。

微量天然物質 100%「海の森フィジカルバランスウォータ」は、化学薬剤ではありません。口に入っても、目に入っても大丈夫です。海の森に含有した油と水は壊れた肌環境を被い肌本来のホメオスタシスが活性するために必要な「場」を形成します。そして、海の森含有のフィトンチッド成分、イオン化された海の母液成分は、ヒトの皮膚の細胞内の生体分子(DNA)が吸収しやすい物質です。皮膚からとり入れ、最も安全・有効的に、皮膚器官へ「海の森」の成分が運ばれていきます。しかも吸収した物質によって細胞代謝に不具合が起きないため十分なエネルギーが産生されます。このように、「場」が形成され、物質とエネルギーが流れてはじめて、失いかけた多くの皮膚バリア機能が徐々に回復するのです。このことは大変重要です。

生命現象を可能にするための自然界の物質だから安全、副作用がないというのは認識不足です。約300年前、貝原益軒の「養生訓」にある、「養生」とは「肚八分医者要らず」という考え方は道理にかなっています。摂取量・摂取濃度を間違えば、有害物質になります。有害なものが多い化学物質を、皮膚に浸ける・塗るということは、一考すべき問題かと思えます。